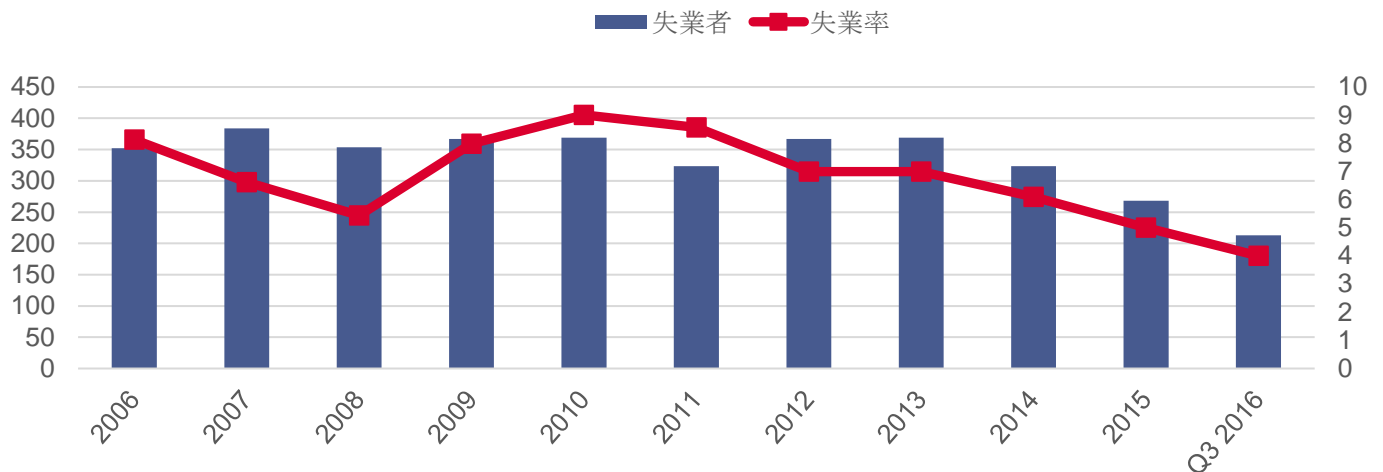


7. 労働事情

労働市場

国土面積 78,864 km² を有するチェコでは、2017 年現在、総人口 1,060 万人のうち 540 万人が労働力人口となっている。労働力調査によると、製造業及び公共サービスが失業率の改善に最も大きく貢献。被雇用者数が 2.0%増加したため、就業率は前年比 1.7%上昇した。短期失業者の雇用が促進されたことにより、2013 年初頭以来、失業率は低下の一途を辿っている。

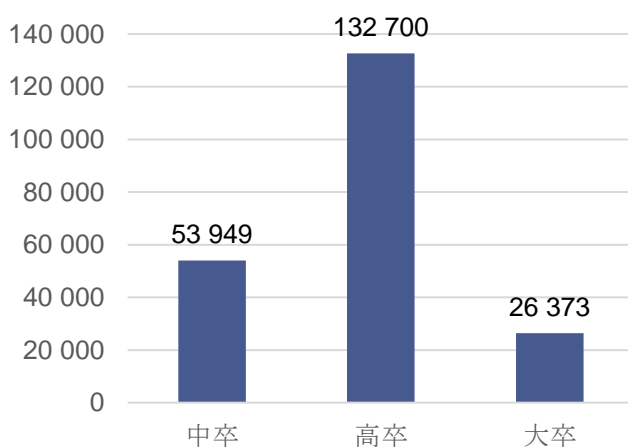
チェコ共和国の失業者数及び失業率



出所：チェコ統計局、2017年。

チェコにおける労働市場は、経済と産業と同様地域性がある。伝統的に、プラハ及び中部ボヘミアは、雇用機会が多く、最低失業率と最高平均賃金の地域となっている。それに対し、ウースティーナットラヴム州とモラビア・シレジア州では、これらの指標が最悪となっている。チェコの産業分野に関しては、重工業と自動車産業が伝統的に主となっている他、ゴム産業と電力産業も多い。伝統的な分野としてガラス製造業とブドウ栽培等が挙げられる。主な輸出先はドイツであり、経済危機と景気後退によるドイツの現状もチェコの産業と経済にインパクトを与えている。(出所：マンパー、

チェコ共和国の失業者数 (最終学歴別、2016 年)



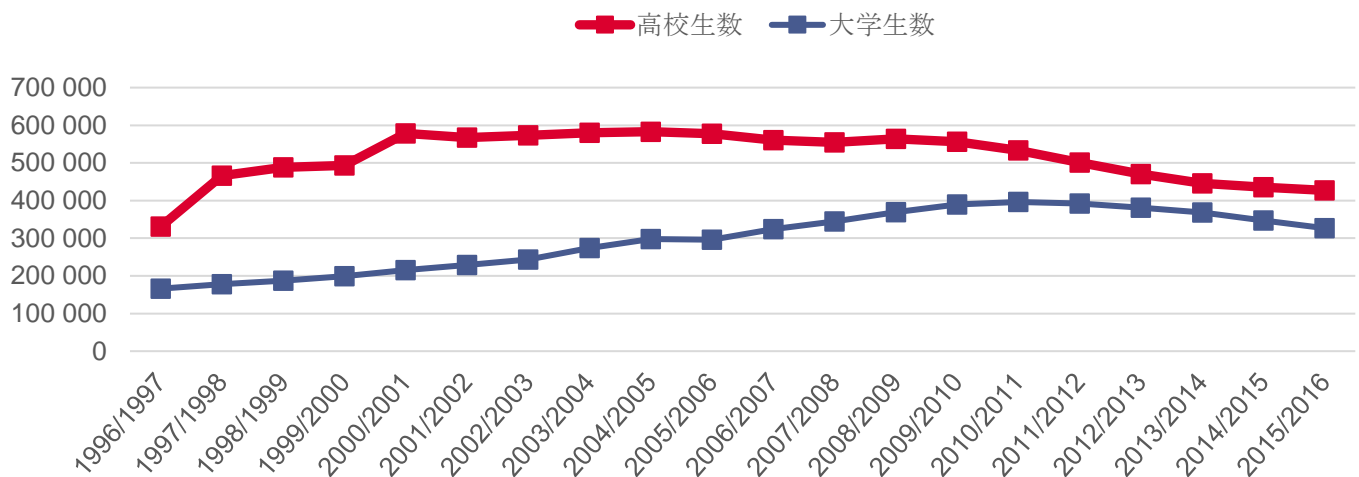
出所：チェコ統計局、2017年。

チェコの州別失業率 (2016 年)

地域	%
プラハ	2.3
中部ボヘミア	3.1
南ボヘミア	2.8
ピルゼン	3.4
カルロヴェイ・ヴァリ	5.9
ウースティー	4.7
リベッツ	4.0
フラデツ・クラロヴェー	4.7
パルドビツェ	3.8
ヴィソチナ	3.0
南モラビア	4.4
オロモウツ	4.1
ズリーン	3.7
モラビア・シレジア	6.4

高度な技術を持った労働力

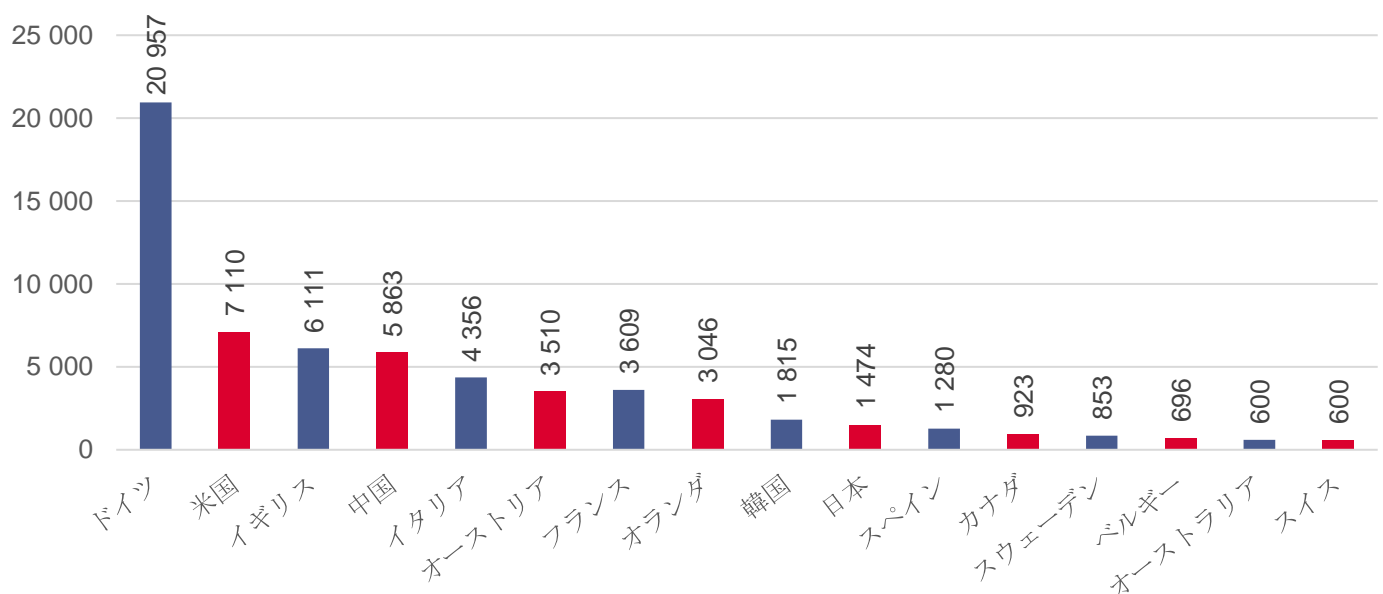
投資家にとってチェコの最大の魅力は、西欧諸国の数分の一のコストで、熟練した教育水準の高い労働力が確保できることである。OECDの調査によれば、チェコは理工系学生の比率が最も高い国の1つである。(詳細は、後述の「技術教育」の項を参照)。教育制度の改革のみならず外国企業の潜在的被雇用者である18～26歳人口の急増などの要因で、大学在学者数は、1990/91年度の11万8,000名から、2015/2016年度に32万6,909名に増えた。



出所：教育情報研究所、2017年。

外国人労働者

チェコの国家安全保障委員会の最新の発表によると、480人以上の外国人が合法的にチェコに移住し就業した(2016年)。また、同発表によれば、スロバキア人、ウクライナ人、ベトナム人、ポーランド人とロシア人が最も多し。ビザ及び労働許可の詳細については「チェコへの入国、滞在及び就労」ファクトシートをご覧ください。



出所：ホームオフィス2017年